慣用句一覧（68こ・意味つき）

体の部分や動物を使った慣用句と、その意味。

目が高い（めがたかい）
よい物を見分ける力がある。

目を丸くする（めをまるくする）
おどろいて目を大きく開く。

目に余る（めにあまる）
ひどすぎて、だまって見ていられない。

目と鼻の先（めとはなのさき）
とても近いこと。

目がない（めがない）
とても好きである。「甘いものに目がない」のように使う。

目からうろこが落ちる（めからうろこがおちる）
あることがきっかけで、急によくわかるようになる。

耳が痛い（みみがいたい）
自分の弱いところを言われて、聞くのがつらい。

耳をうたがう（みみをうたがう）
聞いたことが信じられない。

耳にたこができる（みみにたこができる）
同じことを何度も聞かされて、うんざりする。

口がかたい（くちがかたい）
秘密を人に話さない。

口がすべる（くちがすべる）
言ってはいけないことを、うっかり言ってしまう。

口をそろえる（くちをそろえる）
大勢が同じことを言う。

口車に乗る（くちぐるまにのる）
うまい話にだまされる。

歯が立たない（はがたたない）
相手が強すぎて、とてもかなわない。

歯に衣着せぬ（はにきぬきせぬ）
思ったことを遠慮せずに言う。

慣用句一覧（68こ・意味つき）（2）

体の部分や動物を使った慣用句と、その意味。

舌を巻く（したをまく）
とても感心する。

鼻が高い（はながたかい）
自慢に思う。得意になる。

鼻につく（はなにつく）
人のふるまいが、いやみに感じられる。

顔が広い（かおがひろい）
知り合いが多い。

顔から火が出る（かおからひがでる）
とてもはずかしくて、顔が赤くなる。

頭が下がる（あたまがさがる）
感心して、尊敬する気持ちになる。

頭をかかえる（あたまをかかえる）
どうしたらよいかわからず、困ってしまう。

首を長くする（くびをながくする）
今か今かと待ちこがれる。

首をかしげる（くびをかしげる）
ふしぎに思う。疑問に思う。

手を焼く（てをやく）
扱いに困る。てこずる。

手を貸す（てをかす）
手伝う。

手に汗をにぎる（てにあせをにぎる）
はらはらしながら見守る。

手が出ない（てがでない）
自分の力では、どうにもできない。

腕が上がる（うでがあがる）
技術が上達する。

腕をみがく（うでをみがく）
技術を高めるために、練習する。

慣用句一覧（68こ・意味つき）（3）

体の部分や動物を使った慣用句と、その意味。

肩を持つ（かたをもつ）
一方の味方をする。

肩を落とす（かたをおとす）
がっかりする。

足が出る（あしがでる）
予定よりお金が多くかかる。

足を洗う（あしをあらう）
よくない仕事や仲間とのかかわりをやめる。

足が棒になる（あしがぼうになる）
長く歩いたり立ったりして、足がとてもつかれる。

揚げ足を取る（あげあしをとる）
人の言いまちがいなどをとらえて、からかったり責めたりする。

二の足を踏む（にのあしをふむ）
決心がつかず、ためらう。

ひざを打つ（ひざをうつ）
急に思いついたり、感心したりする。

腹が立つ（はらがたつ）
おこる。

腹を割る（はらをわる）
かくさず、本心を打ち明ける。

背に腹はかえられない（せにはらはかえられない）
大切なことのためには、ほかを犠牲にしてもしかたがない。

胸がいっぱいになる（むねがいっぱいになる）
感動や悲しみで、心がみたされる。

胸をなでおろす（むねをなでおろす）
心配事がなくなり、ほっとする。

骨が折れる（ほねがおれる）
苦労する。手間がかかる。

へそを曲げる（へそをまげる）
きげんを悪くして、すなおでなくなる。

慣用句一覧（68こ・意味つき）（4）

体の部分や動物を使った慣用句と、その意味。

猫をかぶる（ねこをかぶる）
本当の性格をかくして、おとなしそうにする。

猫の額（ねこのひたい）
土地などが、とてもせまいこと。

借りてきた猫（かりてきたねこ）
ふだんとちがって、とてもおとなしいようす。

すずめの涙（すずめのなみだ）
ほんのわずかな量。

馬が合う（うまがあう）
気が合う。

虫がいい（むしがいい）
自分の都合ばかり考えて、身勝手である。

虫の知らせ（むしのしらせ）
何かが起こりそうな予感がする。

さばを読む（さばをよむ）
数をごまかす。

くもの子を散らす（くものこをちらす）
大勢の人が、ばらばらに逃げていく。

鶴の一声（つるのひとこえ）
多くの人の意見をおさえる、力のある人の一言。

しっぽを出す（しっぽをだす）
かくしていたことが、ばれる。

気が置けない（きがおけない）
遠慮しなくてよく、気楽につき合える。

気が気でない（きがきでない）
心配で、落ち着かない。

油を売る（あぶらをうる）
むだ話などをして、仕事をなまける。

さじを投げる（さじをなげる）
見こみがないと、あきらめる。

慣用句一覧（68こ・意味つき）（5）

体の部分や動物を使った慣用句と、その意味。

図に乗る（ずにのる）
調子に乗って、つけあがる。

水に流す（みずにながす）
過去のもめごとを、なかったことにする。

水をさす（みずをさす）
うまくいっている物事の、じゃまをする。

太鼓判を押す（たいこばんをおす）
まちがいないと保証する。

棚に上げる（たなにあげる）
自分に都合の悪いことには、ふれないでおく。

根も葉もない（ねもはもない）
何の根拠もない。

白羽の矢が立つ（しらはのやがたつ）
多くの中から、特に選ばれる。

羽をのばす（はねをのばす）
気がねなく、のびのびとふるまう。